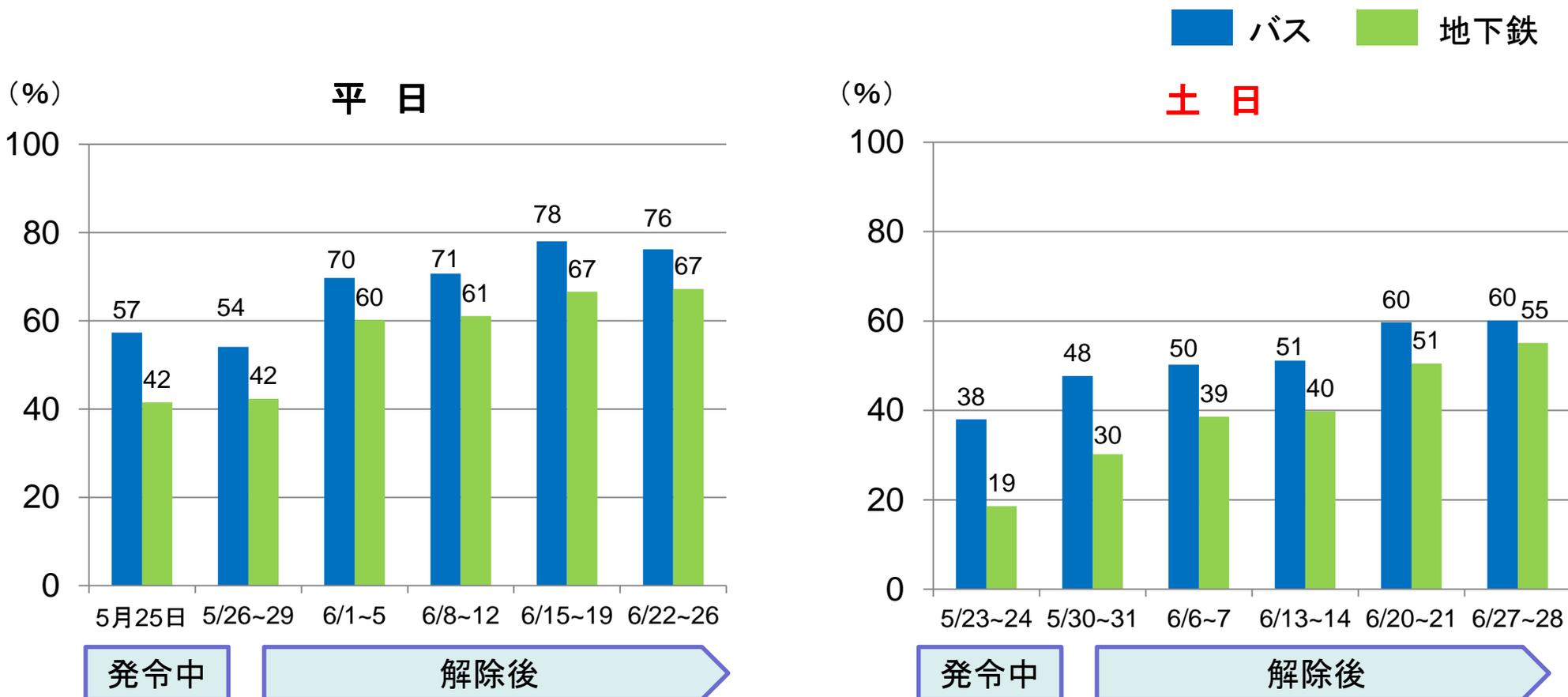


公共交通事業者の新型コロナウイルス 感染症への感染予防対策について

緊急事態宣言解除後の札幌市内のバス、地下鉄の利用状況

○ 緊急事態宣言の発令中と解除後における札幌市内A社の路線バス、地下鉄さっぽろ駅の利用状況は以下のとおり。政府の緊急事態宣言の解除(5月25日)に伴い、バス利用は2割程度、地下鉄利用は2.5割(土日は3割)程度戻りつつあるものの、依然として通常時より少ない状況。

札幌市内A社の路線バス及び地下鉄さっぽろ駅の利用状況の推移(対前年同期比)



事業者による感染防止の取組

緊急事態宣言解除後も、公共交通の利用は元の水準に回復しきれていない。利用者が安心・安全に利用できるよう、事業者による感染予防対策の発信、利用者への「安全な公共交通の乗り方」の周知等が必要。

- 各事業者団体は、感染予防対策ガイドラインを作成。各事業者はガイドラインに沿って感染予防の取組を徹底して実施。また、利用者にはポスターやアナウンスなどにより、感染防止のための協力等呼びかけ。
- 利用者も「マスクの着用」「会話を控える」「目・鼻・口を触らない」などに注意し、感染リスクを低減。

業種ごとの感染予防対策ガイドライン バス、タクシー、鉄道、旅客船等の各事業者団体がガイドラインを作成



利用者に関する対策（ガイドラインより一部抜粋）

- ・ 車内等換気、消毒などの実施。
- ・ 可能な限りのマスク着用の協力呼びかけ。
- ・ 消毒液設置により乗車する際の手指消毒のお願い。
- ・ 感染防止対策を示したチラシの掲示、配布等により、感染拡大防止協力の呼びかけ。

皆様安心してご利用いただくために
札幌市交通局の取り組み

マスク着用の啓発

お客様マスクの着用について呼びかけの啓発を行っています

駅・車内消毒

駅構内や車内の手すりやつり革等、お客様が触れる部分について消毒を行っています

車内換気

車内の窓の一部を常時開け、換気を行っています

ソーシャルディスタンスの確保

定額券売所ではソーシャルディスタンスの確保をお願いしています

HPでのお知らせ

朝ラッシュ時間帯の車内混雑状況を交通局ホームページにてお知らせしています

窓口にビニールシート設置

駅事務室対応窓口をビニールシートを設置しています

取り組みへのご理解とご協力をお願いします

札幌市交通局
SAPPORO CITY TRANSPORT BUREAU

「北海道のタクシー」安心宣言

私たちタクシー運転者は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため「7つの習慣化」に取り組めます！！

1. 乗務員はマスク着用の徹底・手洗いを徹底します。
2. 点呼時に検温測定など健康管理を徹底します。
3. 車内換気のため走行中の窓開けを励行します。
4. 座席・手すりなど定期的な消毒、洗浄を行います。
5. 3密を避けるため、助手席のご利用をご遠慮願います。
6. お客様にも咳エチケットや手洗いを呼びかけます。
7. 車内の会話は出来る限り控えるよう心がけます。

事業者名

内務 令和2年6月 一般社団法人 北海道ハイヤー協会

- 乗合バスでは、乗務員のマスク着用、手洗い、うがい、検温の徹底。バス車両における車内の換気、消毒、空気清浄機の設置、消毒液の設置、飛沫防止用ビニールカーテンの設置、利用者へ協力を呼びかけるポスターの掲示などを実施中。

車内の消毒作業



写真 北海道中央バス提供

運転席を仕切る飛沫防止用ビニールカーテンの設置



写真 北海道中央バス提供

バスターミナル内待合用シートでのフィジカル・ディスタンスの確保



待機車両のドアを開放し換気



写真 北海道中央バス提供

バスターミナル内の掲示



タクシーにおける感染予防対策の取組

- タクシーでは、乗務員のマスク着用、手洗い、うがい、検温の徹底。タクシー車両における車内の換気、消毒、消毒液の設置、飛沫防止用シートの設置などを実施中。

営業所内に消毒液の設置



写真 北海道ハイヤー協会提供

車内の消毒作業



写真 北海道ハイヤー協会提供

後部座席を仕切る飛沫防止シートの設置



写真 北海道ハイヤー協会提供

営業所内にビニールカーテンを設置し飛沫感染防止



写真 北海道ハイヤー協会提供

車内消毒液の設置



写真 北海道ハイヤー協会提供

- 旅客船では、従業員のマスク着用、船内の換気、ターミナル・船内の消毒、ターミナル・船内に消毒液の設置、ターミナル・船内に飛沫防止用ビニールカーテンの設置、利用者の体温測定などを実施中。

船内のドアを開放し換気



写真 共栄運輸提供

ターミナル乗船口（改札口）にビニールカーテンを設置し飛沫感染防止



写真 ハートランドフェリー提供

船内の消毒作業



写真 共栄運輸提供

船内売店にビニールカーテンを設置し飛沫感染防止



写真 ハートランドフェリー提供

船室の消毒作業



写真 共栄運輸提供

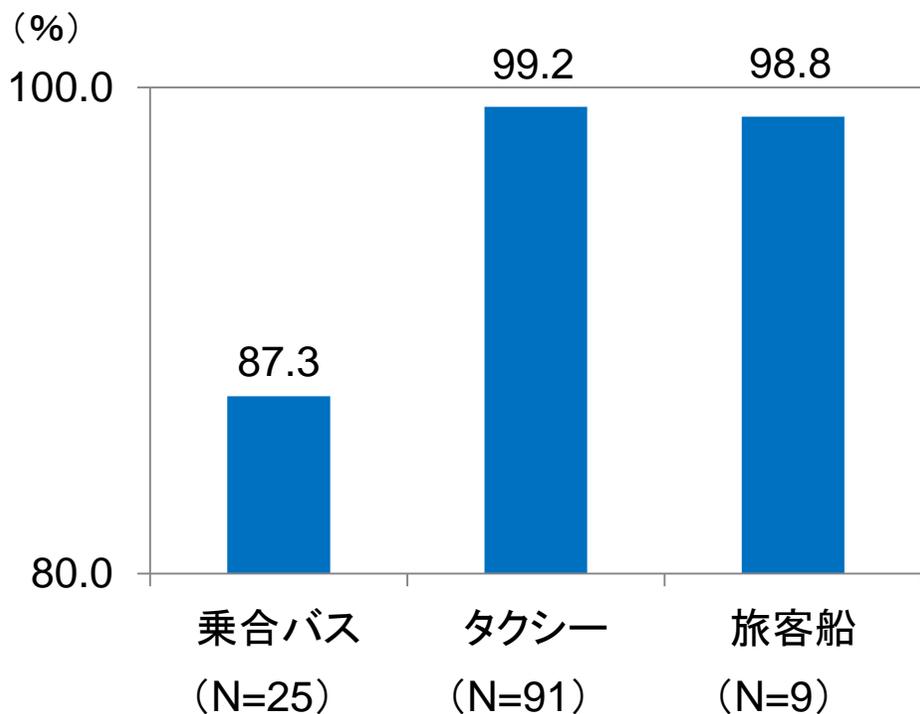
(参考) 経営危機に立たされている公共交通事業者

- 公共交通事業者は、他産業と比べて収支率が低く、慢性的に赤字となっている事業者が多い。
- これまでも厳しい状況にあった公共交通事業者は、外出自粛による運送収入の急激な減少により、経営の危機に立たされている。

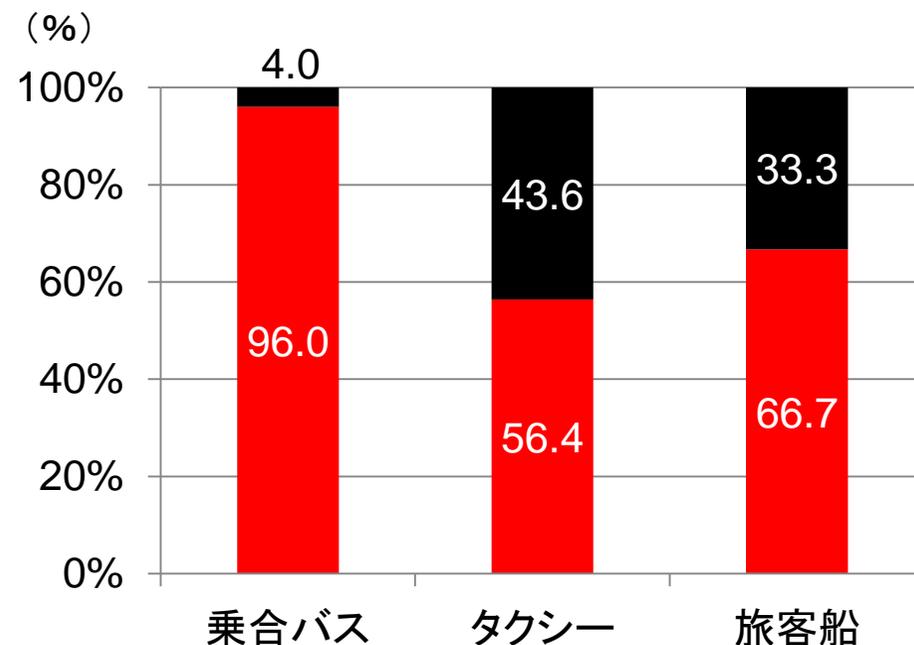


地域住民の生活を支える持続可能な公共交通サービスの維持が危ぶまれる状況

道内事業者の営業収支率
(営業収入／営業費用)



赤字事業者の割合



※道内事業者からの事業報告書を基に、各事業ごとに算出
H30年度実績: 乗合バス・旅客船(一般定期航路)、H29年度実績: 法人タクシー

地域の生活や経済活動を支えるために機能の確保が求められている公共交通について、地域公共交通事業者が十分な感染拡大防止対策を講じることができるよう、駅・車両等の衛生対策や、車内等の密度を上げないよう配慮した運行等の実証事業を支援。

補助対象経費

- 車両・船舶・航空機における抗菌・抗ウイルス対策
- 熱感知カメラ等の設置
- バス運転席仕切りカーテン隔壁の設置
- 混雑時の移動(密な移動)回避を目的としたリアルタイム情報を提供するシステム導入
- 必要な感染症対策を行ったうえで、車内等の密度を上げないよう配慮した実証運行
- 駅・ターミナルの衛生対策 等

補助対象事業者

- 鉄軌道事業者(地域鉄道)
- バス事業者(地域バス)
- 旅客船事業者(定期航路(生活航路))
- 航空運送事業者(特定本邦航空運送事業者を除く。)

補助率

- 1/2等



ターミナル等の衛生対策



車内の抗菌・抗ウイルス対策



熱感知カメラ設置による感染者の公共交通利用自粛励行



バス運転席仕切りカーテン



車両の混雑具合を提供するシステムの導入(カナダ・transit)